

眼とメガネの健康情報

耳

補聴器の話

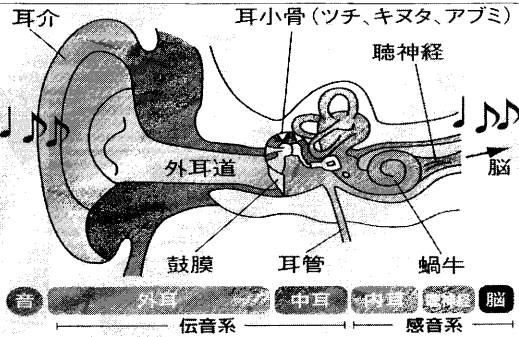
今月のコラム

とある夏の日の事。
妻と3歳になる娘が二人で、デパートのイベントの縁日に行き金魚を三匹もらってきた。金魚すくいなのだ。娘に金魚などすぐえるはずがなく、お情けでもらった三匹の金魚。だが、娘にとっては初めての自分の「ペット」。家に帰ってきてからは大喜びで、何があっても「金魚さん、金魚さん」と金魚ばちの所へ行きお話し

最近、耳の聞こえ具合は何かですか？例えば、人の会話で聞きなすことが多くなった、家族にテレビのボリュームが大きいと指摘された、チャイムや電話の音、病院などで名前を呼ばれても気が付かない、など。聞こえ具合が悪くなると日常生活は静かで良いのですが、他人とのコミュニケーションが取りづらくなり、出かけることが億劫になるものです。

聴力は一般に30代から低下していくと言われており、老眼のように少しずつ進行していくので自覚しづらいものです。少しでもおかしいと感じたら専門医に相談されることをおすすめします。

耳の聞こえの仕組み
図のように耳は、外耳、中



耳、内耳、それと聴神経、脳の部分から成り立っています。音は、耳介で集められ外耳道を通り鼓膜で振動に変わります。

していたらいい。もちろん世話の仕方などわかる筈も無いのだが、一生懸命お話ししていたとの事。帰宅後その話を聞き、「娘に世話をさせよう。明日どこかで餌を買って来ないか」と思っていた。

ところが、翌朝起きて金魚ばちを見ると三匹揃って死んでいるではないか！何歳になっても生き物の「死」とは嫌なもの。そして、この現実を娘に見せるべきかどうか。妻を起し、緊急家族会議。結果、三歳に

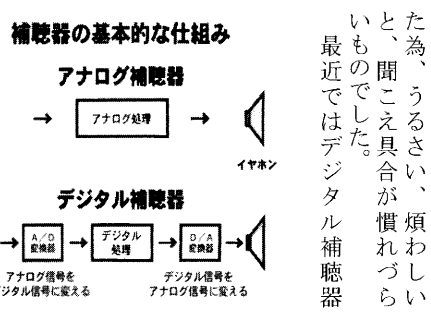
す。その振動を中耳の3つの骨が効率よく増幅し、内耳にあるカタツムリのような蝸牛で音の高さ、大きさによって振動を電気信号に変え聴神経から脳へ伝わり言葉として認識します。

難聴の種類
☆伝音性難聴 外耳から中耳にかけての障害により起こったもの。
☆感音性難聴 内耳から聴神経、脳に掛ける障害により起こったもの。
☆混合性難聴 伝音性と感音性にまたがる難聴。
また多くの方がなりうる加齢難聴(老人性難聴)は加齢とともに聴力が衰え高い音から徐々に聞こえなくなり、周囲に雑音があると、さらに言葉の聞き取りに支障があります。これは感音性難聴の一種です。

補聴器の種類
補聴器は一昔前まで、かなり耳が聞こえなくなつてから使い始め、片方の耳だけすれば

なつたばかりの娘にこの現実を見せるのは酷、という事で二人でそつと供養。金魚ばちを空にして元の場所に。しばらくして起きた娘の第一声が「金魚さんは？」。つらいのだが、「金魚さん、帰っちゃった。また来るって」と妻。「そっか」と冷静に受け止めた風の娘だったが、空の金魚ばちを見るなり号泣。その泣き声を背に仕事に向かうのはつらかった。娘がもう少し大きくなつ

ば十分補えると思われていました。最近では技術も性能も良くなり、初期の難聴の方から違和感なく使用できるものが増え、少しずつ両耳装用者が増えてきております。



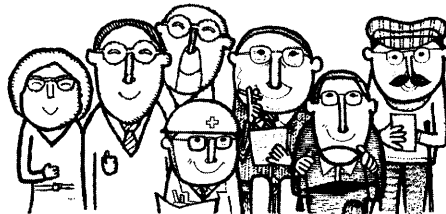
が開発され、音を大きくするのには雑音や歪みが入りやすく、ピーピー音(ハウリング)をカットしたり、語音をハッキリさせたりと使用者に合わせて調整が出来るようになりました。デザインもポケットラジオのような物から耳の穴の中に入る小さな物まで使用者にあったものが選べるようになっております。

難聴の軽いうちから活用され、より良いコミュニケーションを保つことをお勧めします。中山店に聴力測定室も完備しておりますのでお気軽にご相談ください。

なかにむらの検査担当者は全員、日本眼鏡技術者協会の認定眼鏡士のライセンスを取得しています。

メガネ作りは、知的で高度な技術の作業です。

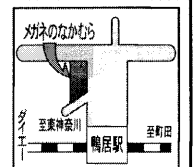
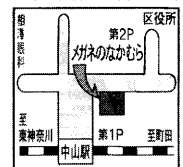
ベターなものよりベストなものへ
あなたの目を守る—メガネ専門店



●中山駅前店 〒226-0014 横浜市緑区台村町290 ☎(045)931-2499(代) 営業時間 AM10:00~PM8:00
●鴨居駅前店 〒226-0003 横浜市緑区鴨居1-7-1 ☎(045)933-0003(代)

●中山駅前店 ☎931-2499

●鴨居駅前店 ☎933-0003



中山高店番第1:第2駐車場 (1階南側)

年中無休